

# プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

## ラオス人民民主共和国

## タパントン地域開発プログラム(LAO-184715)



コンナンちゃん(10歳)とパイナップル栽培を始めた祖父、ゼンさん(78歳)

### チャイルドストーリー

## 収入が向上し、将来に夢を持てるようになった コンナンちゃんの家族

タパントン地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすコンナンちゃんの家族は、農業を営んでいますが、以前は収入が安定せず苦労していました。しかし、2010年にADPからパイナップルの種とタケノコの苗を支給され、コンナンちゃんの祖父、ゼンさんがパイナップルとタケノコの栽培を始めてから、状況は変わり始めました。「パイナップルは育つのに4、5カ月かかりますが、収穫したらそれを市場や近所の人々に売ることができます。昨年は一回の収穫で500万キープ(625ドル)以上の収入を得ることができました」とゼンさんは言います。

パイナップルを売って得た収入は、薬や食料品などの必需品の購入に使われました。また、コンナンちゃんをはじめとする孫たちの学用品や制服、教材、通学のための自転車も購入することができました。以前、コンナンちゃんは2キロ離れた学校まで歩いて通っていましたが、今は自転車に乗って元気に通学しています。

「孫たちには教育をきちんと受け、いい仕事に就き、自立して欲しい」と語るゼンさん。コンナンちゃんの夢は、勉強してお医師さんになり、病気の人々を治してあげることです。



パイナップルから得た収入で自転車を買ってもらい、元気に学校に通うコンナンちゃん

教育プロジェクト

モデル校を指定し、教育の質の向上に取り組んでいます

学習達成度を測る試験に合格する小学生の割合が増加  
 **92.2%** (2013年度) → **97.4%** (2014年度)

学校教育の改善を通して、子どもたちの識字力と生きていくための能力向上を目指しています。2014年度も、校舎や校庭の整備を行うとともに、教育の重要性についての啓発キャンペーンを開催しました。また、地域の小学校4校をモデル校として指定し、教員研修やカリキュラムの整備などを集中的

に実施しました。政府の教育関係者や教師に対しても、教育の質向上の重要性を認識するよう働きかけました。これらの取り組みの結果、学習達成度を測る試験に合格する小学生の割合が、2013年度の92.2%から2014年度は97.4%に増加しました。



教員研修の様子



学校の図書室に多くの本が整備されました

指導者育成プロジェクト

地域の将来を担う子どもたちの参加を促進しています



子どもクラブの活動拠点である地域の集会所 **3カ所**を整備

将来の地域づくりを担うのは子どもたちです。そのためにも子どもの頃から地域の活動に参加し、意見を表明したり責任を担えるようになることは重要です。

ADPでは、村落開発委員会のメンバーや地域住民に対して研修や啓発活動を継続して行っています。これまで設立を支援してきた子どもクラブが活動の拠点としている、地域の集会所3カ所の整備を行いました。子どもクラブの活動が活発な村では、子どもたち同士の争いごとや中途退学の割合が少ないといった効果が見られるようになってきています。



子どもクラブでコミュニケーション能力や責任感を身に付けていきます

## 食料安定供給プロジェクト

## これまでの成果を踏まえて次なるステップのための準備を行いました



## 農産物や手工芸品の付加価値向上を目指しています

モデル農場で1ヘクタールあたりの米の収穫量が4トンにまで増加したことを受けて、そのノウハウを広く地域に普及すべく研修や視察旅行を行いました。伝統織物を作るグループに対しては、これまでの織物の技術的研修に加えて、将来自らの力でグループを運営していくために、グループの規則作りや運営方法の研修なども行っています。

農作物の収穫量が増え、手工芸品の販路がさらに拡大することを見据え、農産物などに付加価値を付けてより多くの収入を得られるよう、情報収集とマニュアルの作成を郡政府とともに行いました。2015年度からは、その情報やマニュアルを実際に使った取り組みを始める予定です。



改良品種の稲を植えたことでダムさん（左）の家庭では収穫量が増えました

改良品種の稲のおかげで収穫が増えました。以前のようにお米がなくなることが心配しなくてよくなりました。子どもたちの教育のためにいくらかお米を売ろうと思っています



母と一緒に布を織っています。織った布を売る市場がもっと広がれば、収入が増えて織物もより盛んになると思います

ADPからの資金面での支援を受けて伝統織物を始めたコウアンタさん（19歳）



## 支援地域の女性のインタビュー

## 農作物を売って現金収入を得られるようになりました

## Q. 家族構成を教えてください。

夫と4人の子どもがいます。夫は病気がちで働けないため、私がかが家計を支えています。

## Q. 子どもの頃学校に通いましたか。

小学校は卒業しましたが、その後若くして結婚しました。田舎では普通なことです。

## Q. ADPの活動に参加してどのような変化がありましたか。

以前は畑で作物を育てても、家族が食べるのにやっとで、売るほど十分な量は収穫できませんでした。しかし、2013年にADPの活動を通して作物の育て方や有機肥料の作り方を学び、農業の道具やトウモロコシ、ナス、ネギ、トウガラシ、レタスなどの種も受け取りました。今では作物を市場や近所で売ることができるようになり、私たちの生活は良くなりました。将来食品や飲み物を売る小

さな店を開くため、野菜を売ったお金を貯金しています。

## Q. 今の夢を教えてください。

一人で働いて家計すべてを支えるのはつらいことでしたが、今はこうして作物でお金を得ることができると知って希望を持てるようになりました。子どもたちの未来が明るいものになるといいと思います。



ADPの支援を受けて農作物からの収入が増えたフォンさん（43歳）



## ADPマネージャー・インタビュー

### Q.ADPで毎日どのような仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政のパートナーとの関係構築、プロジェクトの報告と評価、ADPスタッフの管理などを行っています。

### Q.仕事をしていますと難しいと感じることは何ですか。

人々の考え方と生活の仕方を変えるのは本当に難しいことです。開発は時間がかかり、忍耐を要する仕事です。このため、コミュニティの人々に私たちの仕事を理解し、支持してもらえよう、コミュニティの人々や行政のパートナーと良い関係を作れるように心がけています。

### Q.ワールド・ビジョンで働く原動力となっているものは何ですか。

コミュニティと子どもたちの生活が良くなっていくのを

見る時、私はこの仕事を誇りに思いますし、この仕事をしていてよかったと思います。



タパントンADPマネージャー ソムサヌック・シサマド (50歳)

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



チャイルド・スポンサーへ送る成長報告を作成する子どもたち

ラオスとその周辺国はメコン拡大地域と呼ばれ、経済成長が著しい地域です。しかし、経済的に貧しいラオスでは、仕事を求めて農村から都市部や周辺国へ家族で移住したり、子どもたちが学校へ通うことより働くことを優先させられてしまうという問題が起きています。そこでADPでは、この問題への取り組みの一環として、チャイルドとその家庭への訪問回数を増やしたり、地域の子どもや住民との対話の機会を増やすなどの取り組みを行っています。その結果、子どもたちの退学率の低下や大人たちの「子どもを中心とした開発」への理解が進むなど、徐々に変化が見られるようになってきています。

## 会計報告

LAO-184715

収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

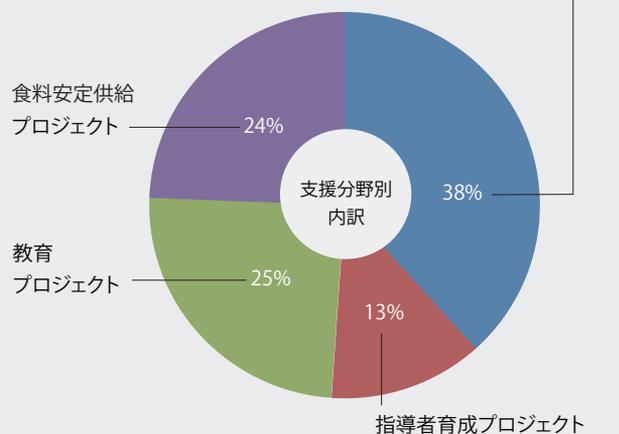
### プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	26,793,438
当期支援額	26,793,438
前期繰越金	2,491,542
プログラム支援額合計	29,284,980

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	11,548,035
指導者育成プロジェクト	3,853,105
教育プロジェクト	7,390,295
食料安定供給プロジェクト	7,350,184
プログラム支出額合計	30,141,619
次期繰越額	-856,639

### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



子どもや地域住民の参加を促進する取り組みをスポンサーシップ・マネジメント・プロジェクトを通して行ったため、事業費に占める割合が高くなっています。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 **ワールド・ビジョン・ジャパン**  
電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)  
FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp  
e-mail：dservice@worldvision.or.jp